

令和四年度

盛岡市教育振興運動実践発表大会

盛岡市の教育振興運動は、今年度五十七年目を迎える歴史ある市民運動です。

今年度は、第十二次五か年計画の一一年目を迎えました。五年間を通しての共通目標である、「地域総ぐるみで『たくましく生きる盛岡の子』を育もう」をテーマに、三年ぶりの地区集会も実施され、各地区の実践を交流する貴重な機会となりました。

地区集会で発表された下橋中学校区、津志田小学校区の二学校区児童生徒の発表・表彰の姿を通して、今年度の運動の成果を確認することができました。

実践発表

の誇りを育んでいる様子が発表されました。

下橋中学校区

「さわやか下中広場」をはじめとする様々なボランティア活動や「地区調査活動」

の地区生徒会の取組、「安全マップ」づくりを活用した小学校との連携、町内会や地域との連携と、様々な切口で充実した取組の発表をしていただきました。

津志田小学校区

子どもたちが、様々な地域の体験活動への参加を通して、地域の方々との交流を深めながら、地域を愛する心情を育むとともに、伝統芸能へ



下橋中学校区の実践発表の様子

児童生徒発表

津志田小学校区 「伝統津志田さんさ踊り」

平成十七年に、見前中学校区教育振興協議会の活動の一



伝統津志田さんさ踊りの発表

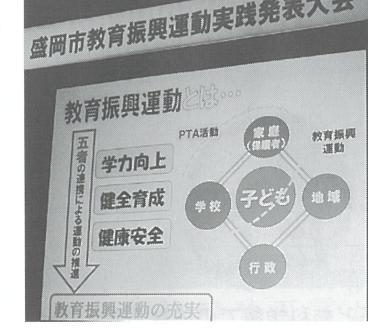
児童生徒発表

盛岡市立高等学校 二年 藤澤 悠生さん 「三味線演奏」

藤澤さんが津軽三味線を始めたきっかけは、テレビで見た「吉田兄弟」の演奏だったそうです。当日は、南部よしやれ節・チャグチャグ馬っこ・津軽あいや節・津軽じょんから節曲弾の四曲が披露されました。「第四十回記念 津軽三昧線世界大会 ユースC級部門 優勝」の栄誉に輝いた迫力ある演奏で、会場を魅了しました。



藤澤さんの見事な演奏



コミュニティ・スクールについての説明

教育委員会説明

教育振興運動の「第十二次

五か年計画」と、盛岡市が今年度から四校に導入しているコミニティ・スクールについての説明が行われました。

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」が設置されている学校のことをいいます。保護者や地域住民等が一定の権限と責任をもつて学校運営に参加することで、教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて協働するしくみのある学校づくりを目指しています。

次年度からも、今まで培われてきた教育振興運動を土台としたコミュニティ・スクールの導入を、各校の実態や実情に応じて進めて参ります。